

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 高齢者が安心して生活できるまちへ (30分)</p> <p>平成27年10月1日現在、我が国の人口に占める高齢者の割合(高齢化率)は26.7%となっております。一方、鶴ヶ島市の高齢化率は平成28年11月現在、25.8%で国の値を下回るものの、急速な高齢化が特徴的となっております。</p> <p>この急速な高齢化は、昭和50年代のいわゆる人口急増期に本市に転入してきた方々が高齢者に移行していく過程のもので、そのスピードは世界的にみても速いものと分析されております。</p> <p>超高齢社会を迎えた今、受け皿の早期整備が望まれます。市では地域包括ケアシステムの構築や相談体制の整備など、様々な取組をされておりますが、課題もあるかと思われまます。高齢者が安心して生活できるまちの構築を願い、以下質問いたします。</p> <p>(1) 今後の高齢化率の推計は。 (2) 地域包括ケアシステムの現状は。 (3) 健康寿命延伸の取組は。 (4) 認知症対策は。 (5) 市民後見人の現状は。 (6) 高齢者の交流など、いきがい作りの推進は。</p>	市長
<p>2 防災体制の更なる充実を (30分)</p> <p>平成28年4月14日以降に相次いで発生した熊本を震源とする地震では、本震の二日前にマグニチュード6.5の前震が発生しており、当初、この地震が本震であるとみられておりました。しかしながら、その後の本震の発生は被害に追い打ちをかける自然の脅威を改めて痛感させました。</p> <p>また、10月21日には鳥取県中部を震源としたマグニチュード6.6の地震が発生しました。政府の地震調査委員会は、この地震を発生前までに確認されていなかった未知の活断層により生じたものとしております。</p> <p>東日本大震災やこれらの地震のように、近年、これまでには考えられなかった、想定を超える災害のリスクが高まっていると思われまます。また、ゲリラ豪雨や大雪、竜巻など異常気象による突発的な自然災害も頻発しております。数年前には鶴ヶ島市においても大雪が記録されるなど、想定外・突発的な災害に対して準備を整える重要性が年々増加していると思われまます。</p> <p>市は緊急時に機能を維持し市民の命を守るために、防災訓練の実施や職員の参集体制の構築、対応マニュアルの徹底など、市として様々な対策を講じておられますが、更なる防災体制の充実を</p>	市長 教育委員会教育長

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>期待し、以下質問をいたします。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 物資の備蓄状況は。(2) 避難場所や避難経路の周知は。(3) 緊急時における職員の参集体制は。(4) B C P (業務継続計画) の実効性は。(5) ゲリラ豪雨や竜巻など、突発的な災害に対する備えは。(6) 防災に関して地域との連携は。	